

学校法人大阪女学院 運営構造図

ミッション=使命 大阪女学院ミッションステートメント(2009年9月15日制定)

大阪女学院は創造主を畏れ キリストの教えに従って一人ひとりを愛し 何が重要であるかを見抜く力を養い 喜びをもって 進んで社会に仕える人を育む

VISION OJ140 [創立140周年・2024年度を望み見て] (ビジョンはミッションと計画をつなぐもの)

大阪女学院が育もうとする学生・生徒像

- * キリスト教に基づく愛と奉仕を実践する人
- * 自由で主体的な学びの中から物事の本質を見つめ、進むべき道を選ぶことのできる人
- * 英語力を基礎に幅広い教養と公正な判断力を身に付け、自律的・主体的に行動できる人
- * 性別の役割にとらわれずに多様な可能性を探し求め、リーダーシップを覚えて、女性の尊厳の確立に努める人
- * 社会の課題に関心を持ち、世界、日本、地域、人に仕える人

望み見る大阪女学院の姿 140周年・2024年度の学院運営像

中学校から大学院まで キリスト教を基盤に全人格を育む女子・女性の教育機関

1. 大学・短期大学の運営像

- (1)地球環境、平和、差別、貧困及び女性の尊厳に関わる潜在的な課題に関する教育の展開
- (2)英語運用能力の伸張と教養教育との融合を深化させる中で人格を育む教育の展開
- (3)2024年度の全体像
短期大学:1学年100名 大学:1学年150名 全学学生数:800名+大学院生
- (4)コンセプト
キリスト教教育、人権教育、英語教育及び専門教育を柱に、確かな自己認識と社会認識によって問題意識を育み、世界の様々な場で人々と協働する女性を育てる高等教育機関

2. 中学校・高等学校の運営像

- (1)世界を見つめ、生き生きと社会で活動する女性を育む
- (2)女性の視点での教育活動の展開
- (3)2024年度の全体像
中学校:1学年4クラス150名
高校:1学年7クラス240名
全校生徒数:1170名
- (4)コンセプト
平和と共生の実現に寄与する生徒を育む学校

3. 部門間の連携・協働のあり様

- (1)中学校から大学院までの教育研究機関であり、キリスト教を基盤に全人格を育む女子の学校であることを地域社会に広く報せる。
- (2)大学院の研究成果(国際共生、平和)が、短大・大学にとどまらず、中学校・高等学校の中に活かされる教育を展開する。
- (3)VISION OJ140、第Ⅲ期中期計画に則って、部門間の連携・協働がより充実している。

4. 教育研究活動を支える運営のあり様

- (1)女性が働くための課題と職場環境の充実
- (2)学院全体が協働する運営組織とシステムの構築
- (3)健全な財務体質への転換
- (4)キャンパス施設設備の維持及び新設計画

中期計画Ⅱ期(2016～19年度)

中期計画Ⅲ期(2020～24年度)

運営基本方針(2020～24年度/Ⅲ期中期計画において)

- * 知恵と力の結集による良き学校運営の継承
- * 学生・生徒の安定的確保
- * 変化への迅速な対応

具体的施策(Ⅲ期中期計画)

1. 教育内容の充実
2. 学生・生徒支援
3. 地域との共存
4. 組織の人材育成
5. 学生・生徒募集方針
6. 財政運営方針と5か年計画
7. 施設整備

VISION OJ150 [創立150周年・2034年度を望み見て]

中期計画Ⅰ期(2025～28年度)

中期計画Ⅱ期(2029～30年度)

中期計画Ⅲ期(2030～33年度)